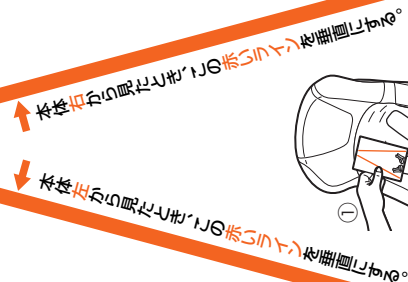
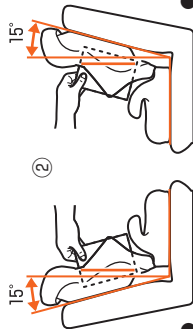
このグレーのラインを「背もたれのシートカバー」にあわせる

Combi
コンビ
ジョイトリップ
シリーズ

角度チェッカー

チャイルドモード(P23)、ジュニアモード(P39)で車に取り付けたときの、正しい角度の目安としてお使いください。

車の座席の背もたれがリクライニングできる場合、チャイルドモード、ジュニアモードでご使用のときは、本製品の背もたれを15゜前後に傾けて取り付けます。
①本書を背もたれのシートカバーにあわせます。
②赤いラインが垂直になる、約15゜の角度が取り付けの目安です。

②
15゜
15゜
●本体右
●本体左

コンビ株式会社　132276130　11.5

商品に関するお問い合わせ、部品購入、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。
コンシューマープラザ(Customer Service Center)　受付時間:10:00~17:00(日祝日、年末年始を除く)
〒339-0025　埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271　TEL.(048)797-1000　FAX.(048)798-6109
コンシューマープラザ(Customer Service Center)/西日本担当　受付時間:10:00~17:00(土日祝日、年末年始を除く)
〒540-0026　大阪府大阪市中央区内本町2-4-16　TEL.(06)6942-0379　FAX.(06)6942-0302
*ホームページでのご案内　http://www.combi.co.jp/cp/

Web上にコンビの育児サイトを開設しています
コンビの製品&育児情報サイト・コンビタウン
http://www.combibaby.com

このグレーのラインを「背もたれのシートカバー」にあわせる

Combi

コンビ　チャイルドシート
ジョイトリップ シリーズ

取扱説明書 (品質保証書付)

●お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくお使いください。
●70ページの品質保証書に、必要事項をご記入ください。
●本書は、座面のシートカバー裏側のポケットに保管してください。(5ページ参照)

本製品は、ヨーロッパ統一規則 (ECE R44/04改訂)において認可された商品です。
● 汎用型(ユニバーサル):質量グループ1,2,3
● お子さまの体重:9kg以上~36kg以下の幼児・学童用
● 弊社の「取付確認 車種リスト」をご確認のうえ、ご使用ください。

お使いいただく前に

このたびは、コンビチャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございます。
お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。

チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
また、チャイルドシートを使用するときは、必ず保護者のかたが同乗してください。

●表示について
本書では、安全に正しくご使用いただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表　示	表示の内容
⚠危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。
ワンポイント	チャイルドシートをご使用いただく上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利な内容です。

もくじ

お子さまの体重にあわせた使いかた

お子さまの体重にあわせて、３つのモードで使います。

モード	チャイルドモード	ジュニアモード	ブースターモード
使用状態			
体重条件	9kg以上～ 18kg以下	15kg以上～ 25kg以下	15kg以上～ 36kg以下
身長の目安	70 ～ 105cm	95 ～ 120cm	95 ～ 145cm
年齢の目安	１才ころ～４才ころ	３才ころ～７才ころ	３才ころ～ 11才ころ
使用方法	車両シートベルトでチャイルドシートを車の座席に固定し、チャイルドシートの幼児ベルトでお子さまを拘束します。	幼児ベルトを取りはずして、車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。肩ベルトをお子さまの肩の高さにあわせるために、ベルトポジショナーを使用します。	さらに背もたれを取りはずして、座面のみで使用します。肩ベルトをお子さまの肩の高さにあわせるために、ベルトポジショナーを使用します。
参照ページ	23	39	53

⚠危険
●「身長の目安」や「年齢の目安」は、あくまでも目安です。
身長や年齢が上記条件を満たしていても、「体重条件」を満たしていないお子さまは、そのモードではお使いになれません。

各部のなまえ

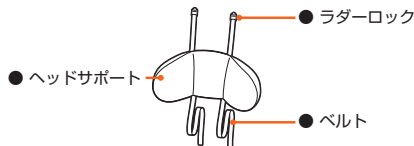
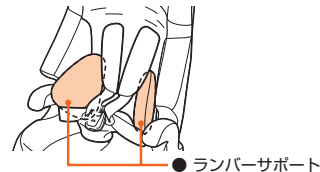
つづく

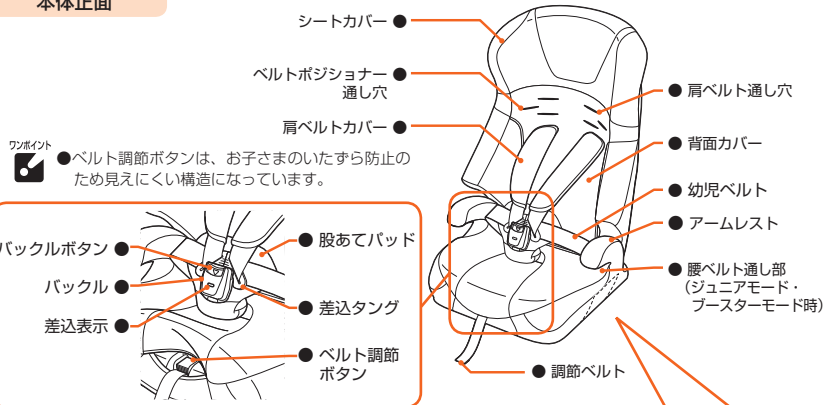
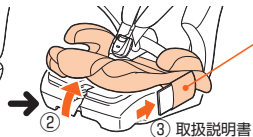
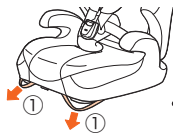
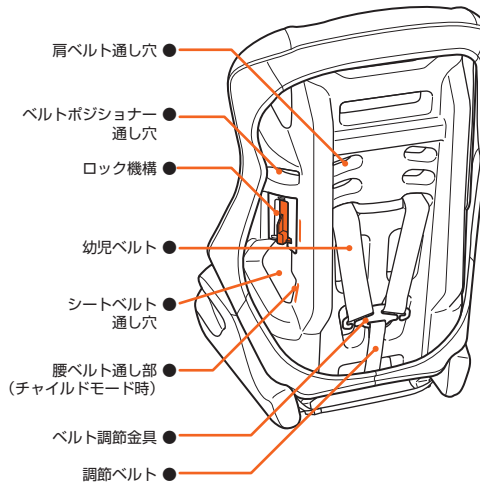
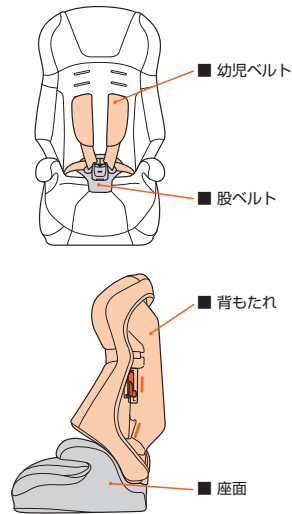
ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。
本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

- ご使用前に、70 ページの「品質保証書」に次の項目を記入してください。
  - ① ロット No.(座面底面部に貼ってあるシールに記載されています)
  - ② お客様のお名前・ご住所・電話番号
  - ③ 販売店名
- 領収書(レシート)を本書といっしょに保管してください。

梱包内容

- 本体
- ヘッドサポート(EGのみ)
- ランバーサポート(EGのみ)
- 取扱説明書(本書)
- お客様登録カード

ヘッドサポート(EG のみ)

ランバーサポート(EG のみ)

＊ヘッドサポートとランバーサポートはジュニアモードまで使用できますが、お子さまの体形にあわせて任意に使用してください。

各部のなまえ

本体正面
シートカバー
ベルトポジショナー通し穴
肩ベルトカバー
肩ベルト通し穴
背面カバー
幼児ベルト
アームレスト
腰ベルト通し部（ジュニアモード・ブースターモード時）
調節ベルト
ワンポイント
●ベルト調節ボタンは、お子さまのいたずら防止のため見えにくい構造になっています。
バックルボタン
バックル
差込表示
股あてパッド
差込タング
ベルト調節ボタン
①座面底面部の前側の2カ所のゴムベルトをはずし、
②シートカバーの前側を上にめくり、
③収納ポケットに本書を収納します。
①
①
②
③ 取扱説明書
●取扱説明書収納ポケット
＊シートカバー裏側にあります
本体背面
肩ベルト通し穴
ベルトポジショナー通し穴
ロック機構
幼児ベルト
シートベルト通し穴
腰ベルト通し部（チャイルドモード時）
ベルト調節金具
調節ベルト
本書でよく使われる各部位のなまえ
■ 幼児ベルト
■ 股ベルト
■ 背もたれ
■ 座面

シートベルトの種類と使用上の注意

チャイルドシートは、シートベルトの種類により取り付けかたが異なったり、取り付けられない場合があります。

本製品はUN/ECE規則No.16または、他の同等の基準に基づいて認可された３点式シートベルトを装備した車種に限り使用するのに適しています。
　＊日本国内で登録されている自動車は、ほぼ適合しております。車種適合につきましては下記サイトにてご確認になるか、チャイルドシート販売店にてご相談ください。

● パソコンから　http://www.combibaby.com/　　コンビ 適合　検索

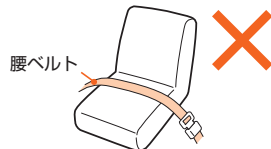
● 携帯電話から　http://www.combibaby.com/i/

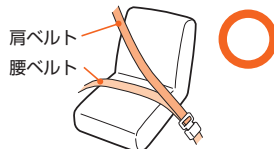
携帯電話 QR コード※

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

⚠危険
●必ず３点式シートベルトの座席に取り付けてください。
●２点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず､大変危険です。

２点式シートベルトとは

図のように、肩ベルトがなく、腰ベルトの左右２点で体を支えるシートベルトのこと。

３点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの３点で体を支えるシートベルトのこと。

シートベルトの種類と特徴（見分けかた）		チャイルドモード	ジュニアモード ブースターモード
ELR	ゆっくり引くと自由に出入りし、勢いよく引くとロックする	ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けてください。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けてください。
AELR	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すとチャイルドシート固定機能がはたらき､それ以上伸びなくなる。(シートベルトを全て巻き戻すと解除される)	チャイルドシートの取り付けが終わったら、シートベルトを全て引き出した後ベルトを戻し、チャイルドシート固定機能をきかせてください。	シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを１度戻して、チャイルドシート固定機能を解除してから取り付けてください。
NR	巻き取り装置の付いていないシートベルト。	チャイルドシートにあわせてベルトの長さを調節して、チャイルドシートを取り付けてください。	チャイルドシートにあわせてシートベルトの長さを調節して、チャイルドシートを取り付けてください。
NLR	ロック機能のない巻き取り装置付きシートベルト。		
ALR	シートベルトを引き出す途中で止めるとロックされ、それ以上引き出せなくなる。		使用できません。

＊シートベルトの種類が不明な場合は、各自動車メーカーにお問い合わせください。

取り付けできない座席

本製品は、前座席・後座席ともに取り付けできますが、より安全な後座席への取り付けをおすすめします。
※助手席への取り付けはエアバッグの有無に関わらずおすすめできませんので、適合調査は行っておりません。

取り付けできない座席

次の条件のいずれか１つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかり固定できない場合には使用しないでください。

●シートベルトの付いていない座席。

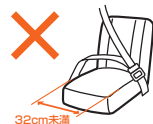
●２点式シートベルトの座席。

●進行方向に対して横向き、または後向きの座席。

●パッシブシートベルトの付いた座席。

※パッシブシートベルトとは
…車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置のこと。（オートマチックシートベルト）

●エアバッグ装備の座席。
…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。

●シートベルトの取り付け幅※が32cm未満の座席。
※シートベルトが座席の端にあたっているところから、バックルの付け根までの長さ。

●座面の奥行きが40cm未満の座席。

●極端なバケットシート。
…座面の中央が深くへこんでいる座席。

●座席の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。

●シートベルトが座席の中間から出ている座席。
…チャイルドシートのシートベルト通し穴の位置よりも、前方向からシートベルトが出ている座席。

⚠危険

次のような使いかたは、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

●使用条件に適合しないお子さまや、取り付けできない座席などでは、使用しないでください。

●車両シートベルトおよび座席の種類などにより、取扱説明書どおりにチャイルドシートをしっかり固定できないときは、他の座席に取り付けてください。

●お子さまがチャイルドシートの上に立ったり、中腰になったり、正座をしないように注意してください。
チャイルドモードで使用の場合、お子さまを座らせたときには、お子さまに股あてパッド、幼児ベルトが正しく装着され、左右の差込タングがしっかりバックルに差し込まれ、表示が緑色に変わっていることを確認してください。

●エアバッグ装備の座席では本製品を使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。

⚠危険

●ジュニアモード・ブースターモードで使用の場合、お子さまを座らせたときには、車両シートベルトが正しい位置で調節されていることを確認してください。

●車に取り付けるときは、車両シートベルトを取扱説明書および本体表示に従って正しく通して取り付けてください。誤った部分を通して取り付けないでください。

●車に取り付けるときは、必ず車両シートベルトで固定してください。ひもなど、車両シートベルト以外のもので固定しないでください。

⚠緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者のかたがバックルボタンを押し、幼児ベルトをはずして、(ジュニアモード、ブースターモードの場合は車両シートベルトをはずして) すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。

つづく

⚠警告

次のような使いかたは、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

●幼児ベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。
…幼児ベルトは正しい長さに調節してください。
（35ページ「お子さまの座らせかた」参照）

●お子さまがバックルボタンを押してしまう可能性があります。差込タングがバックルからはずれていないことを確認してください。はずれていると本来の働きをせずさらにベルトが首に巻き付くおそれもあります。

●車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けないでください。

●衝突事故や製品を落下させたときなど、１度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。

●チャイルドシートにお子さまが座った状態で運ばないでください。

●ジュニアモード、ブースターモードで使用の場合、必ずベルトポジショナーを使用してください。衝突時、車両シートベルトが肩からはずれて危険です。

●ベルトポジショナーは肩と同じ高さになるように調節し、車両シートベルトがお子さまの体にあうようにして使用してください。
（51、56ページ参照）

●バックルにゴミなどが詰まって確実に差し込めない場合は修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。

●幼児ベルトに傷がついたときは、ご使用にならないでください。修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。

⚠警告

●ジュニアモード・ブースターモードで使用の場合、チャイルドシート固定機能付きシートベルトのときは、固定機能を働かせないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。
（８ページ「シートベルトの種類と特徴」参照）

●お子さまを車内に１人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の原因になります。必ず保護者のかたが同乗してください。

次のような使いかたは、お子さまや同乗しているかたに危険をまねくおそれがあります。

●シフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす場合は、後座席に取り付けてください。

●２ドアや３ドアの車で後座席に人が乗る場合には、助手席には取り付けないでください。

●お子さまが座っていないときでも、本製品は必ず車両シートベルトで取り付けてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。

安全にお使いいただくために

⚠注意

●直射日光が当たると、本体や差込タングなどが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。夏などの日差しが強い日は、日かげに駐車するか、チャイルドシートにカバーなどをかけてください。また、お子さまを座らせる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。

●走行中は、チャイルドシートの操作や調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないようにしてください。

●背もたれのみでは使用しないでください。

●チャイルドシートを通常の椅子として使用すると、転倒してけがの原因となります。本書に記載されていない使いかたをしないでください。

●チャイルドシートを車のシート可動部やドアにはさまないように、十分注意してください。

●チャイルドシートを改造しないでください。また、本書に記載されていない使いかたをしないでください。

●お子さまだけで乗り降りはさせないでください。必ず保護者のかたが乗せ降ろしをしてください。

⚠注意

●シートカバーなどの縫製品や、ウレタンなどのクッション材をはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。（衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります）

●車の座席に、クッションや座布団などを敷いたまま、チャイルドシートを取り付けないでください。チャイルドシートがしっかり固定されません。

●座席の表皮素材（革など）および形状によっては、取り付けた座席に傷や跡がつくおそれがあります。別売りの「コンビ ズレ防止・保護シート」の使用をおすすめいたします。

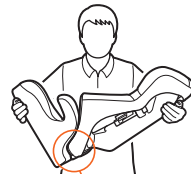
●チャイルドシートを風雨にさらさないでください。

●固定されていない物を車内に置かないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまなどに当たるおそれがあります。

●幼児ベルトを持ってチャイルドシートを持ち運びしないでください。

●組み立てたチャイルドシートを持ち運ぶ場合は、図のように持ち、背もたれと座面の接合部に指をはさまないように注意してください。

※組み立てたチャイルドシートの背もたれと座面は動きます。

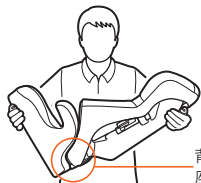
つづく

工場出荷時、本製品は背もたれと座面がはずれた状態になっています。チャイルドモード(P23)や、ジュニアモード(P39)で使用する場合は、背もたれを座面に取り付けて使用します。

⚠注意

●組み立てるときは、平らで柔かい床の上で行ってください。製品の破損や床への傷つきを防ぎます。

●組み立てるときは、周囲の人にも気をつけて指などをはさまないように注意してください。

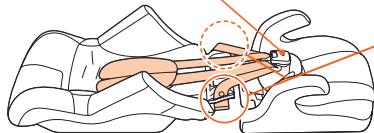
●組み立てたチャイルドシートを持ち運ぶ場合は、図のように持ち、背もたれと座面の接合部に指をはさまないように注意してください。

※組み立てたチャイルドシートの背もたれと座面は動きます。

●ベルト類を、背もたれと座面の間にはさまないように注意してください。

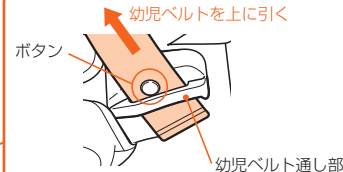
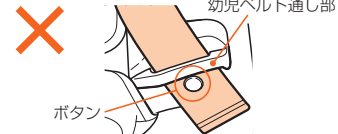
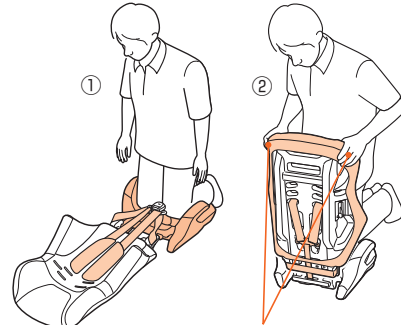
背もたれの取り付け

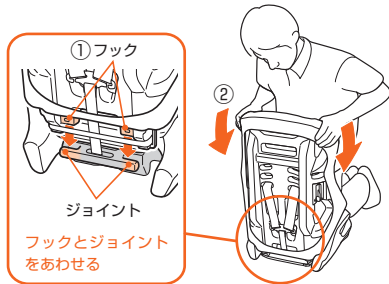
1 ベルト類にねじれがないことを確認し、背もたれと座面を平らで柔らかい床の上に置いて、図のように幼児ベルトを整える。

＊チャイルドモードで使用の場合、差込タングはバックルに差し込んでおく。

ワンポイント

●幼児ベルトにねじれがないことを確認してから組み立てます。

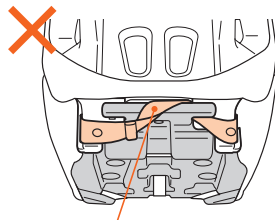
2 左右の幼児ベルトを上に引き、左右のボタンが幼児ベルト通し部より上にあることを確認する。

⚠警告

●ボタンが幼児ベルト通し部より下にある状態では使用しないでください。

3 ① 座面の中央部に両ひざを乗せて体重をかけ、
② 背もたれの上側を両手で持つ。

ベルト類をはさまないように注意しながら、

4 ① 背もたれのフックを座面のジョイントにあわせ、
② 左右片側ずつゆっくりと強く押し込む。

ワンポイント
● 1 度に押し込まず、左右片側ずつ強く押し込みます。
●組み立てたチャイルドシートの背もたれと座面は動きます。

⚠注意

必ず次の内容を確認してから使用してください。チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

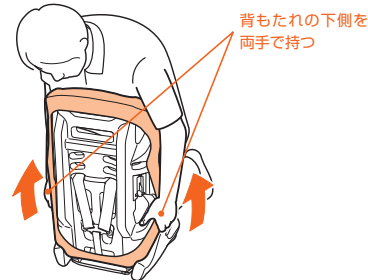
- お子さまを座らせる前に、背もたれが座面にしっかり取り付けられていることを確認してください。
- チャイルドモードで使用の場合、幼児ベルトがアームレストの外側を通っていないことを確認してください。
- 幼児ベルトなどが背もたれと座面の接合部にはさまれていないことを確認してください。

幼児ベルトがはさまれている

ブースターモード（P53）で使用する場合は、背もたれを座面から取りはずして使用します。

背もたれの取りはずし

本体を平らで柔らかい床の上に置き、

1 座面の中央部に両ひざを乗せて体重をかける。

2 背もたれの下側を両手で持ち、左右片側ずつゆっくりと引く。

ワンポイント
● 1 度に引き抜かず、左右片側ずつゆっくり取りはずします。

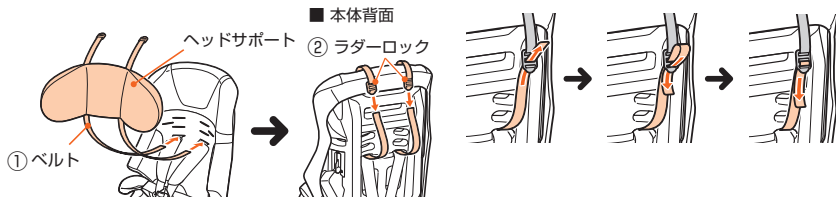
⚠注意
●左右を強く引くと、急にはずれる場合があります。ゆっくり引いて取りはずしてください。

ヘッドサポートとランバーサポートの取り付けと使いかた(EG のみ)

ヘッドサポートやランバーサポートは、チャイルドモード(P23)やジュニアモード(P39)のときに使用できますが、お子さまの体形にあわせて任意に使用してください。

⚠注意
- はずしたヘッドサポートやランバーサポートを車内に放置しないでください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。
- チャイルドシートを持ち運ぶときには、ヘッドサポートやランバーサポートを持たないでください。製品が落下し、破損するおそれがあります。
- ヘッドサポートやランバーサポートは、本書に記載されていない使いかたをしないでください。

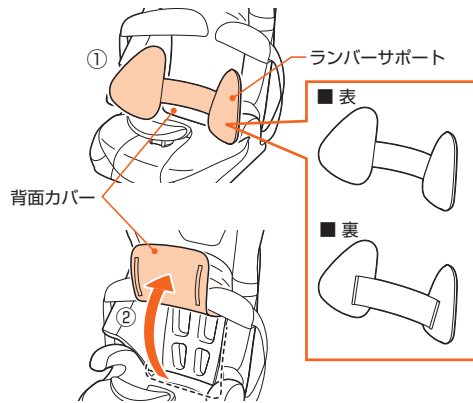
ヘッドサポートの取り付け

1 ① ヘッドサポートのベルトを、幼児ベルトを通している肩ベルト通し穴に通し、
② ラダーロックを背もたれの上部から本体背面に回しこむ。

2 ベルトを図のようにラダーロックに通し取り付ける。

＊取りはずしは、取り付けの逆の手順です。

ヘッドサポートの取りはずし

ランバーサポートの取り付け

① ランバーサポートの取り付ける方向と表裏を確認し、
② 背もたれの背面カバーをめくる。

取り付ける方向に注意し、
③ 背面カバー裏の左右の取り付け部にランバーサポートを通し、
④ 背面カバーをもとに戻す。

＊取りはずしは、取り付けの逆の手順です。

ランバーサポートの取りはずし

使用前の準備

体重条件	9kg 以上～ 18kg 以下
身長の目安	70 ～ 105cm
年齢の目安	1 才ころ～ 4 才ころ
使用方法	車両シートベルトでチャイルドシートを車の座席に固定し、チャイルドシートの幼児ベルトでお子さまを拘束します。

ワンポイント
●体重が 15kg 以上のお子さまは、ジュニアモード（P39）やブースターモード（P53）でも使用できます。

お子さまにあわせた肩ベルトの調節のしかた

お子さまの肩の高さにあわせて、肩ベルト通し穴の位置を決めてください。

●肩ベルト通し穴の位置の決めかた
お子さまをチャイルドシートに座らせて、正しい肩ベルト通し穴の位置を確かめてください。

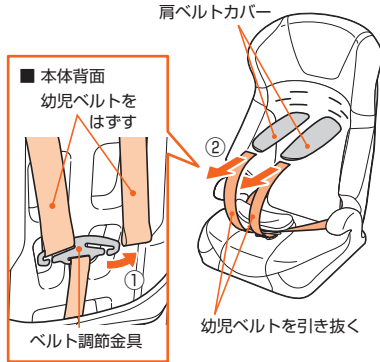
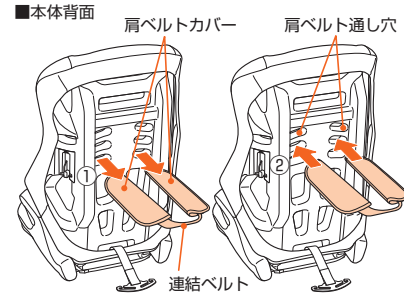
⚠警告
●肩ベルト通し穴の位置は、お子さまの肩よりすぐ上の肩ベルト通し穴を使用してください。
●肩ベルト通し穴は、左右同じ高さの穴を使用してください。

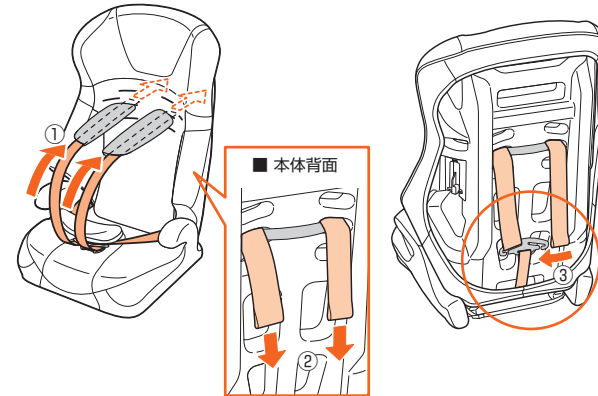
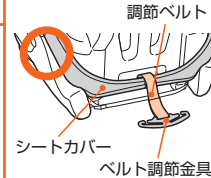
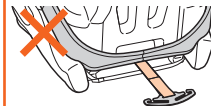
※股ベルトの長さや位置は調節できません。肩ベルトを調節してください。

お子さまの肩の高さにあった位置に、肩ベルトを調節します。

1 幼児ベルトを引き出す。
① 座面のシートカバー下のベルト調節ボタンの奥側の『PUSH』を押しながら、
② 左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に強く引き、幼児ベルトが引けなくなるまで引き出す。
＊ 肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトはゆるみません。必ず、幼児ベルトを引いてください。

ワンポイント
●ベルト調節ボタンは、お子さまのいたずら防止のため見えにくい構造になっています。
●ベルト調節ボタンを押すときは、ボタンの『PUSH』マークを確実に押してください。
●ベルト調節ボタンが動かない場合は、 調節ベルトを手前に引っぱりながら、ベルト調節ボタンを強く押し込んでください。

2 幼児ベルトを取りはずす。
① 左右の幼児ベルトを、本体背面のベルト調節金具からはずす。
② 幼児ベルトを肩ベルトカバーから引き抜く。
＊ 肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトははずれません。必ず、幼児ベルトを引いてください。

3 肩ベルトカバーの位置を変える。
① 肩ベルトカバーを、本体背面から片方ずつ引き抜く。
※ 左右の肩ベルトカバーは、連結ベルトにより本体背面でつながっています。
② 肩ベルトカバーを適正な肩ベルト通し穴に通す。
＊「お子さまにあわせた肩ベルトの調節のしかた」(P23) 参照。

ワンポイント
●肩ベルトカバーがうまく引き抜けないときは、本体正面から肩ベルト通し穴に肩ベルトカバーの先端を押し込みながら、本体背面から引き抜いてください。

4 幼児ベルトを取り付ける。
① 肩ベルトカバーに幼児ベルトをねじれないように注意しながら通す。
② 幼児ベルトを本体背面に引き出す。
③ ベルト調節金具に幼児ベルトを取り付ける。

取り付け上の注意

ここでは、チャイルドモードでの取り付け上の注意を説明しています。
車の座席の形状などにより、取り付けできない場合があります。「取り付けできない座席」(P9)参照。

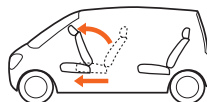
⚠危険
- ●チャイルドシートがしっかり固定できない場合は、本来の機能を果たさず大変危険ですので、他の座席に取り付けてください。
- ●車に取り付けるときは、ひもなど、車両シートベルト以外のもので固定しないでください。
- ●エアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。

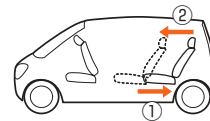
※ サイドエアバッグのみの場合には使用できます

⚠警告
- ●車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けないでください。
- ●お子さまがチャイルドシートに座っていないときでも、必ず車両シートベルトで固定しておいてください。
- ●シフトレバーやパーキングブレーキなどの運転操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けないでください。
- ●2 ドアや3 ドアの車で後座席に人が乗る場合は、チャイルドシートを助手席に取り付けないでください。緊急時の脱出の妨げになります。

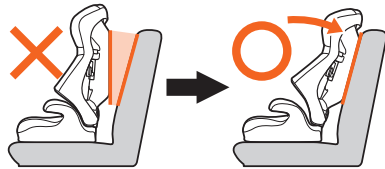
取り付け作業の前に

1 取り付け作業は、ドアの全開閉操作が可能な、平らな場所で行ってください。

2 車内の作業スペースを確保するため、前座席を倒したり、スライドさせてから取り付けてください。

●チャイルドモードで使用の際、取り付け座席にスライド機能がついている場合、取り付け終了後に座席を前にスライドさせると、より確実に固定できます。

① チャイルドシートを取り付ける前に、取り付け座席を１番後ろにスライドさせる。
② 取り付け手順終了後に、取り付け座席を前にスライドさせる。

座席の準備

1 チャイルドシートをしっかり固定させるために、車の座席を調節する。
① 座席のヘッドレストが取りはずせる場合は取りはずす。
② 車両シートベルト取り出し口の高さが調節できる場合は､最下段に下げる。
③ チャイルドシートを前向きに置く。

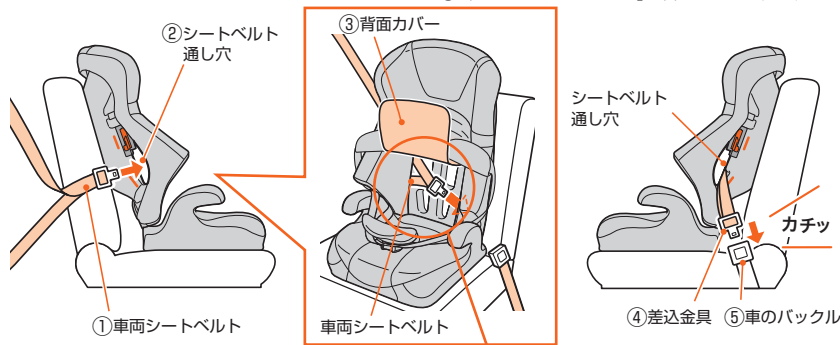
2 チャイルドシートと車の座席の背もたれとの間に、すき間がなくなるように調節する。

● 車の座席の背もたれがリクライニングできない場合は、チャイルドシートの背もたれの角度を調節し、車の座席とのすき間をなくす。

⚠警告

● 車の座席の背もたれがリクライニングできる場合は、背もたれの角度を調節し、本製品の背もたれを 15°前後の傾きにして使用してください。
極端に倒した状態で使用すると、事故などの衝突時に本来の機能を果たさず、危険です。
＊角度を確かめるときは、本書裏表紙の角度チェッカーをご利用ください。

● チャイルドシートと車の座席とのすき間が極端に空いた状態で使用すると、事故などの衝突時に本来の機能を果たさず、危険です。

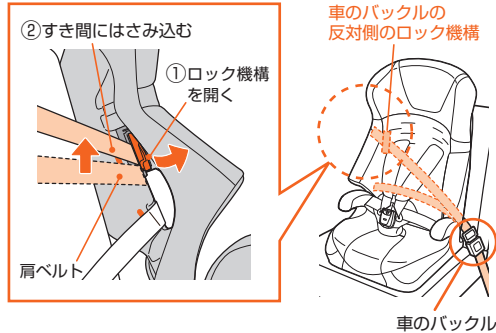
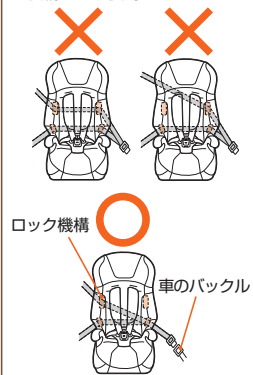
車への取り付けかた

1 車両シートベルトを取り付ける。
① 車両シートベルトをねじらないように、ゆっくりと引き出し、
② シートベルト通し穴に通す。
③ 背もたれの背面カバーをめくり、車両シートベルトにねじれがないこと確認し、
④ 差込金具を反対側のシートベルト通し穴から出し、
⑤ 車のバックルに『カチッ』と音がするまで差し込む。

＊ 車両シートベルトにねじれがないこと

＊取りはずしは、取り付けの逆の手順です。

2 ロック機構に車両シートベルト（肩ベルト）を取り付ける。
① 車のバックルの反対側のロック機構を開き、
② ロック機構のすき間の上まで肩ベルトをはさみ込み、ロック機構を押し込み閉める。

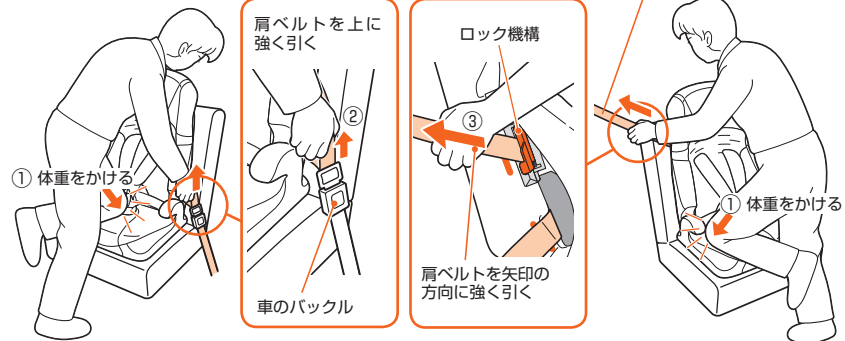
ワンポイント ●ロック機構は自動で閉まりますが、肩ベルトをしっかり取り付けるために、最後に軽く押し込んで閉めます。

＊取りはずしは、取り付けの逆の手順です。

チャイルドシートの取りはずし

しっかり取り付けのしかた

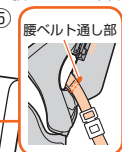
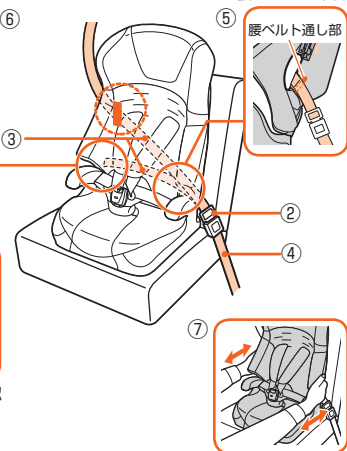
車両シートベルトのゆるみをなくし、チャイルドシートをしっかりと固定します。

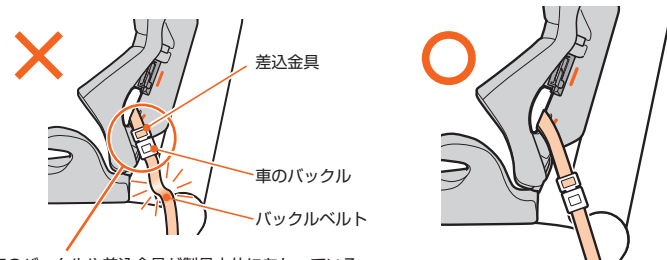
① 座面の奥にひざを乗せて体重をかけ、車の座席にチャイルドシートを沈み込ませながら、
② 車のバックル上の肩ベルトを上に強く引き、腰ベルトのたるみをとる。
③ もう一方の手で、ロック機構部分の肩ベルトを矢印の方向に強く引き、肩ベルトのゆるみをなくす。

ワンポイント ●体重をかけながら、②と③を同時に、くり返し行います。

チャイルドモードの取り付け完了チェックのしかた

取り付けが終わったら、チャイルドシートが正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

① 車の座席と背もたれの間に大きなすき間がないこと。

② 車両シートベルトの差込金具が車のバックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
③ 車両シートベルトにゆるみ・たるみがないこと。
④ バックルベルトにゆるみがないこと。
　＊ 34ページ警告を参照。
⑤ 腰ベルトが、左右の腰ベルト通し部にかかっていること。
⑥ 肩ベルトが、車のバックルの反対側のロック機構に通り、ロックされていること。
⑦ 側面部分を持ち前後にゆすり、座面が大きく動かないこと。（目安：約3cm）
　＊ チャイルドシートの構造上、座面が上下に動く場合がありますが、使用上問題はありません。

⚠警告

● 車のバックルや差込金具が製品本体にあたりバックルベルトにゆるみができると、取り付けが不安定になります。取り付けが不安定な状態では、使用しないでください。

＊ 車のバックルや差込金具が製品本体にあたっていても、バックルベルトにゆるみがなく、チャイルドシートがしっかり取り付けられていれば使用できます。
＊ ご不明な点は、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。

これらの項目をチェックし、しっかり取り付けられていない場合は、28 ～ 33ページの手順の必要なステップを、もう１度くり返してください。
それでも、しっかりと取り付けられない場合は、その座席では使用しないでください。
本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

お子さまの座らせかた

あらかじめ、肩ベルト通し穴の位置をお子さまの体にあわせてください。「お子さまにあわせた肩ベルトの調節のしかた」(P23) 参照。

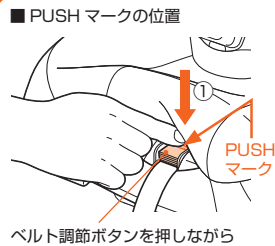
⚠警告

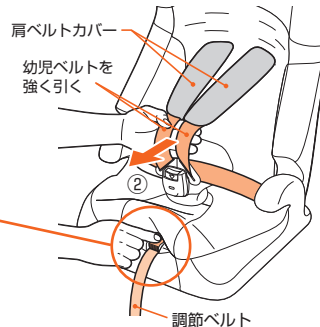
- かさばった服を着せたまま、座らせないでください。
- お子さまを座らせるときには、下図のような座らせかたをしないでください。チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

1 幼児ベルトを引き出す。

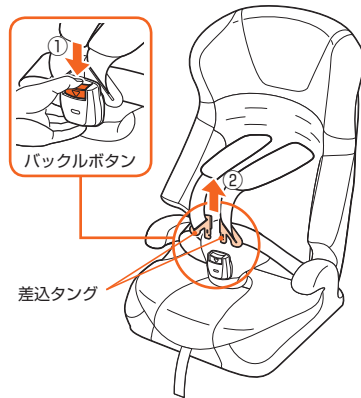
① 座面のシートカバー下のベルト調節ボタンの奥側の『PUSH』を押しながら、

② 左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に強く引き、ゆるめる。

＊ 肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトはゆるみません。必ず、幼児ベルトを引いてください。

ワンポイント

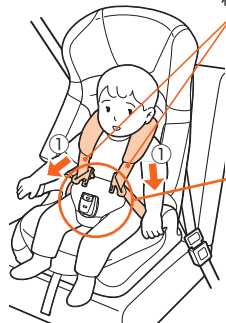
- ベルト調節ボタンは、お子さまのいたずら防止のため見えにくい構造になっています。
- ベルト調節ボタンを押すときは、ボタンの『PUSH』マークを確実に押してください。
- ベルト調節ボタンが動かない場合は、調節ベルトを手前に引っぱりながら、ベルト調節ボタンを強く押し込んでください。

2 差込タングをはずす。

① バックルボタンを押して、

② 差込タングをはずす。

チャイルドモードの使いかた

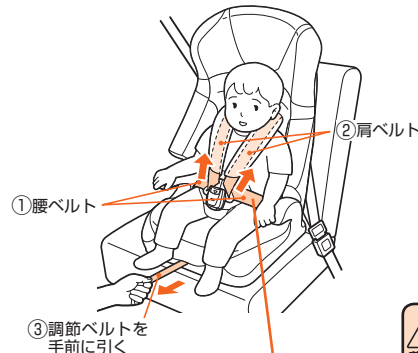
幼児ベルトを長くする（お子さまをおろすときは）

＊ お子さまをおろすときは、1 と 2 の手順で行います。

3 **お子さまを座らせる。**
お子さまを深く座らせ、
① 左右の腕を幼児ベルトに通す。
② 左右の差込タングを組みあわせてから、『カチッ』と音がするまで差込タングをバックルに差し込む。

● バックルのボタンは、お子さまの力でははずれないように固くしてあります。

4 差込表示が『緑色』に変わっていることを確認する。

⚠ 警告
● 左右の差込タングが、確実にバックルに差し込まれていないと、衝突時にお子さまが飛び出したり、幼児ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。

5 幼児ベルトを短く調節する。
① 腰ベルトは、必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにし､腰部に密着させる。
② 肩ベルトは、必ず肩の中央に十分かかるようにする。
③ 調節ベルトを手前に引き、左右の幼児ベルトをお子さまの体にフィットさせる。

お子さまの骨盤をしっかりと拘束するように、必ず幼児用腰ベルトを低く下げること。

ワンポイント
● お子さまが窮屈でないように、また幼児ベルトがたるんだり、ゆるまないように調節してください。
● お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入るくらいが適切です。きつかったり、ゆるかったりするときには、幼児ベルトの長さを調節してください。
● 幼児ベルトをゆるめるときは、「幼児ベルトを長くする」（P35）を参照してください。

⚠ 警告
● 必ず幼児ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。
● 幼児ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻きつき窒息するおそれがあります。

チャイルドモードの使いかた

使用前の準備

体重条件	15kg 以上～ 25kg 以下
身長の目安	95 ～ 120cm
年齢の目安	３才ころ～７才ころ
使用方法	幼児ベルトを取りはずして、車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。肩ベルトをお子さまの肩の高さにあわせるために、ベルトポジショナーを使用します。

ワンポイント

●体重が 15kg 以上～ 25kg 以下のお子さまは、ブースターモード（P53）でも使用できますが、肩ベルトがお子さまの首にあたる場合があります。背もたれを使用したジュニアモードでのご使用をお勧めします。

⚠危険

● 必ず３点式シートベルトの座席で使用してください。２点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。
● お子さまが座っていないときでも、必ず車両シートベルトで取り付けてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、危険なことがあります。

⚠警告

● 必ずベルトポジショナーを使用してください。衝突時、車両シートベルトが肩からはずれて危険です。
● チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を働かせないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。「シートベルトの種類と特徴」（P8）参照。
● 車両シートベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。
● 車両シートベルトに傷がある場合は、その座席では使用しないでください。

ジュニアモードへの変更のしかた

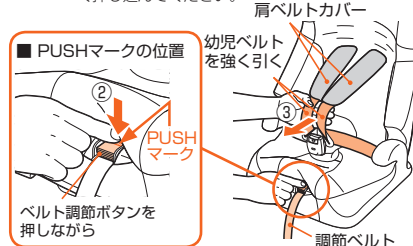
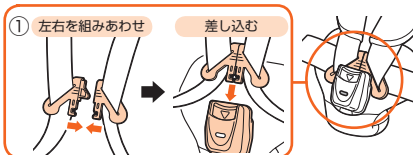
チャイルドモード(P23) で使用していた、幼児ベルトと股ベルトを取りはずします。

⚠注意 ●チャイルドシートを車の座席から取りはずしてから、モードの変更を行ってください。

幼児ベルトの取りはずし

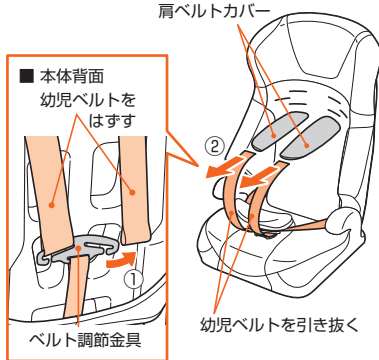
1 幼児ベルトを引き出す。
① 左右の差込タングを組みあわせてから、『カチッ』と音がするまで差込タングをバックルに差し込む。
② 座面のシートカバー下のベルト調節ボタンの奥側の『PUSH』を押しながら、
③ 左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に強く引き、ゆるめる。
＊ 肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトはゆるみません。必ず、幼児ベルトを引いてください。

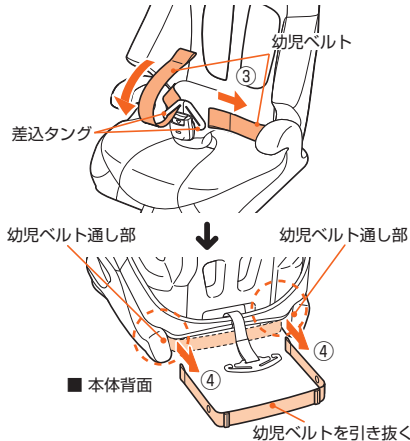
ワンポイント

● ベルト調節ボタンは、お子さまのいたずら防止のため見えにくい構造になっています。
● ベルト調節ボタンを押すときは、ボタンの『PUSH』マークを確実に押してください。
● ベルト調節ボタンが動かない場合は、調節ベルトを手前に引っぱりながら、ベルト調節ボタンを強く押し込んでください。

2 幼児ベルトを取りはずす。

① 左右の幼児ベルトを、本体背面のベルト調節金具からはずす。

② 幼児ベルトを肩ベルトカバーから引き抜く。

＊ 肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトははずれません。必ず、幼児ベルトを引いてください。

③ 差込タングから、左右の幼児ベルトを引き抜く。

④ 本体背面より、幼児ベルトを、左右の幼児ベルト通し部から、片方ずつゆっくりと引き抜く。

ワンポイント

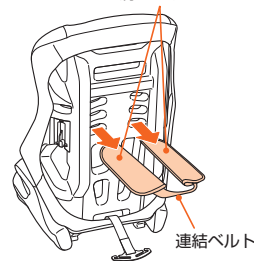
●本体正面の幼児ベルトにねじれがないことを確認しながら、ゆっくりと引き抜いてください。

3 肩ベルトカバーを取りはずす。

左右の肩ベルトカバーを本体背面から片方ずつ引き抜く。

※ 左右の肩ベルトカバーは、連結ベルトにより本体背面でつながっています。

■ 本体背面　肩ベルトカバー

連結ベルト

ワンポイント

●肩ベルトカバーがうまく引き抜けないときは、本体正面から肩ベルト通し穴に肩ベルトカバーの先端を押し込みながら、本体背面から引き抜いてください。

●幼児ベルトの取り付けは、60 ページを参照してください。

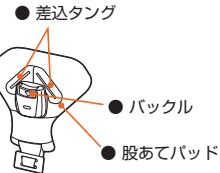
●股ベルトの取りはずしは、43 ページを参照してください。

⚠注意

●取りはずした幼児ベルトは股ベルトといっしょに大切に保管し、なくさないようにしてください。

■ 幼児ベルト

● 肩ベルトカバー　● 幼児ベルト

■ 股ベルト

● 差込タング

● バックル

● 股あてパッド

※ 股あてパッドをなくさないように注意してください。

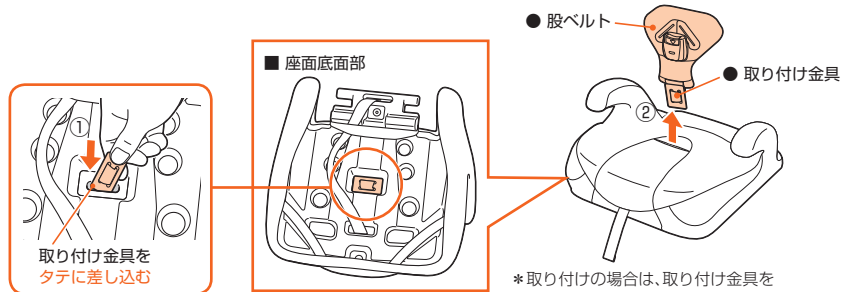
ワンポイント

●差込タングはなくさないように、股ベルトのバックルに差し込んだままにしてください。

●股あてパッドはバックルから取りはずすことができます。

股ベルトの取りはずし

＊本体が不安定な状態になります。座面から背もたれを取りはずした状態で(P20)、作業をしてください。
① 座面底面部から、股ベルトの取り付け金具を引っぱって浮かせ、本体の穴にタテに差し込む。
② 座面の表から、股ベルトを引き抜く。

＊取り付けの場合は、取り付け金具を本体の穴にタテに差し込む。

ワンポイント
● 座面の表から股ベルトを押し込むと取り付け金具がゆるみ、股ベルトが取りはずししやすくなります。

警告
● 取り付けの場合は、取り付けが終わったら座面の表面から股ベルトをひっぱり、しっかり取り付けられていることを確認してください。

注意
● 背もたれを取りはずしてから、股ベルトの取りはずし、取り付けをしてください。
背もたれを取り付けた状態では、本体が不安定です。
● 取りはずした幼児ベルトや股ベルトは、いっしょに大切に保管し、なくさないようにしてください。

■ 幼児ベルト
● 肩ベルトカバー
● 幼児ベルト

■ 股ベルト
● 差込タング
● バックル
● 股あてパッド

※ 股あてパッドをなくさないように注意してください。

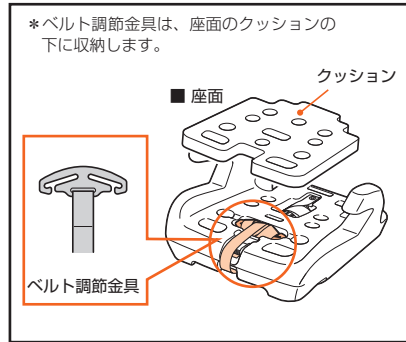
ワンポイント
● 差込タングはなくさないように、股あてパッドのバックルに差し込んだままにしてください。
● 股あてパッドはバックルから取りはずすことができます。
● 幼児ベルトの取りはずしは、40 ページを参照してください。

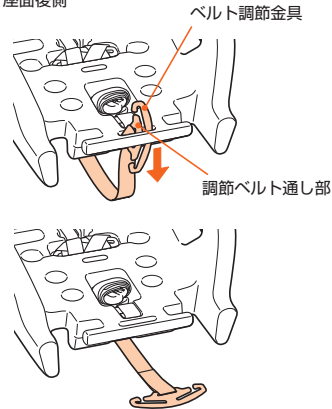
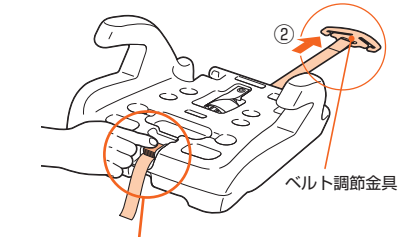
＊取り付けは、取りはずしの逆の手順です。

股ベルトの取り付け

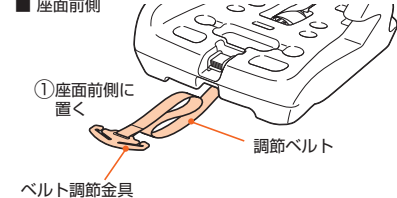
ベルト調節金具の収納のしかた

ベルト調節金具を座面内に収納します。
座面から背もたれを取りはずし（P20）、シートカバーとクッションを取りはずし（P65）、ベルト調節金具を収納します。

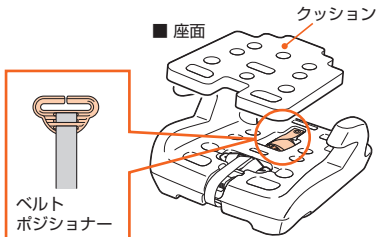
＊ベルト調節金具は、座面のクッションの下に収納します。

ワンポイント
●ベルト調節金具の取り付けは、59 ページを参照してください。

1 ベルト調節金具を、座面後側の調節ベルト通し部にタテに差し込んで引き抜く。

2 ① ベルト調節ボタンの奥側の『PUSH』を押しながら、
② ベルト調節金具を最大まで引き出す。

ワンポイント
●ベルト調節ボタンを押すときは、ボタンの『PUSH』マークを確実に押してください。

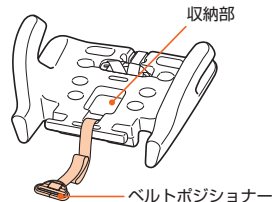
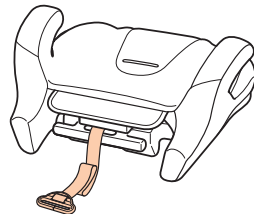
3 ベルト調節金具を収納する。
① ベルト調節金具を座面前側に置く。
② ベルト調節金具に調節ベルトを均等に巻いて、
③ 収納部にベルト調節金具を入れる。

ジュニアモードの使いかた

ベルトポジショナーの準備

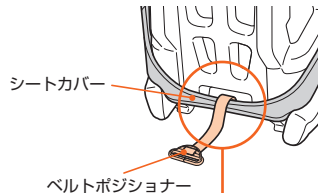
ベルトポジショナーの準備をします。
座面から背もたれを取りはずし（P20）、シートカバーとクッションを取りはずし（P65）、ベルトポジショナーを取り出します。

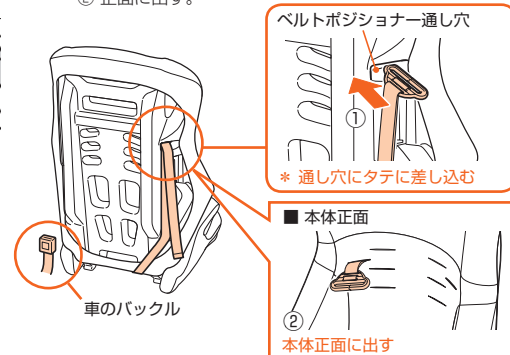
＊ベルトポジショナーは、座面のクッションの下に収納してあります。

ワンポイント
●ベルトポジショナーの収納は、58 ページを参照してください。

1 収納部からベルトポジショナーを取り出す。

■ 座面後側

2 座面にクッションとシートカバーを取り付ける。（P65 参照）

ここからは、座面に背もたれを取り付けてから（P17）、作業を行います。

3 ベルトポジショナーを、シートカバーと本体の間を通す。

■ 本体背面

⚠注意
●ベルトポジショナーが、シートカバーと本体の間を通るように取り付けてください。

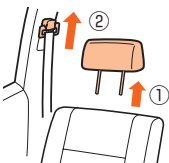
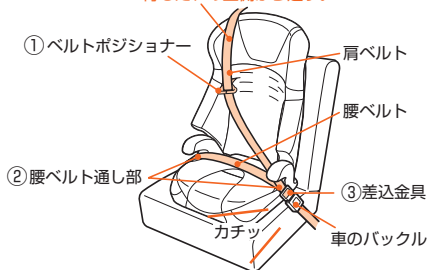
4 ベルトポジショナーを取り付ける。
① ベルトポジショナーを車のバックルの反対側のベルトポジショナー通し穴にタテに差し込み、
② 正面に出す。

⚠警告
●ベルトポジショナーを肩ベルト通し穴に通して使用しないでください。必ずベルトポジショナー通し穴を通して使用してください。

車への取り付けかた

⚠警告

● 車の座席の背もたれがリクライニングできる場合は、背もたれの角度を調節し、本製品の背もたれを 15°前後の傾きにして使用してください。
極端に倒した状態で使用すると、事故などの衝突時にお子さまの体が車両シートベルトの下からすり抜けたり、ベルトが首にかかるおそれがあり危険です。

＊ 角度を確かめるときは、本書裏表紙の角度チェッカーをご利用ください。

1 ① 座席のヘッドレストが取りはずせる場合は取りはずす。
② 車両シートベルト取り出し口の高さが調節できる場合は最上段に上げる。

2 ジュニアシートを車の座席に置き、車両シートベルトを引き出して、
① 肩ベルトをベルトポジショナーに通す。
② 腰ベルトを左右のアームレスト下側の腰ベルト通し部に通す。
③『カチッ』と音がするまで差込金具を車のバックルに差し込む。
＊ 肩ベルトは背もたれの上側から通すこと。

⚠注意 ● お子さまを座らせていないときも、つねにこの状態にしておいてください。

お子さまの座らせかた

お子さまを座らせるときは、以下のことに注意して、深く座らせてください。

⚠警告

● 本製品は、車両シートベルトを締めていない状態では不安定です。保護者のかたの補助なしでお子さまが 1 人で乗り降りすると、車の座席からずれ落ちたり倒れたりするおそれがあります。必ず保護者のかたが乗せ降ろしをしてください。

● お子さまを図のように座らせると、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険です。

・のけぞる、前かがみになる。

・お子さまが、体を左右どちらかに傾けて座っている。

・中腰・正座・立てひざなどをする。

差込金具をいったんはずし、お子さまを深く座らせ、車両シートベルトを引き出して『カチッ』と音がするまで差込金具を車のバックルに差し込む。

＊ 腰ベルトは、必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにし、腰部に密着させる。

⚠警告 ● お子さまの腕は、必ず車両シートベルトの上になるようにしてください。

⚠注意 ● 背もたれと座面の間に衣服をはさむおそれがあります。ご注意ください。

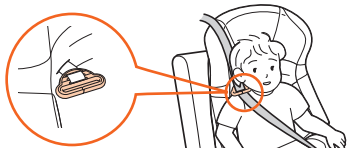
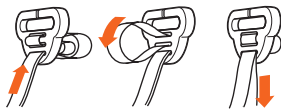
ベルトポジショナーの調節のしかた

お子さまを深く座らせ、肩の高さにあわせてベルトポジショナーの長さを調節します。

＊ベルトポジショナーは座面のクッションの下に収納されています。（P47 参照）

ベルトポジショナーの正しい位置

図のように、ベルトポジショナーを肩と同じ高さになるように調節し、車両シートベルトをお子さまの体にあわせる。

⚠警告

● ベルトポジショナーは車両シートベルト（肩ベルト）がお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまが成長し、ベルトポジショナーが低くなったときには、高さを調節しなおしてください。

長くする場合

短くする場合

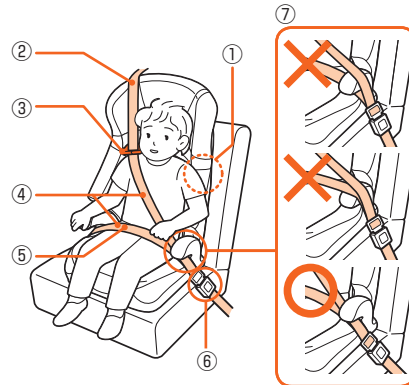
ベルトの通しかた

ベルトがはずれてしまった場合は、図のようにベルトを通す。

ジュニアモードの完了チェックのしかた

お子さまを座らせ、車両シートベルトを締めたら、次のことを確認してください。

① 車の座席とジュニアシートの間に大きなすき間がないこと。
② 肩ベルトが背もたれの上側から通してあること。
③ 肩ベルトがベルトポジショナーを通り、お子さまの首を圧迫していないこと。また、肩からはずれていないこと。
④ 車両シートベルトがお子さまの体に密着していて、ねじれやたるみがないこと。
⑤ 腰ベルトがお子さまの腰骨を押さえていること。
⑥ 車両シートベルトの差込金具が車のバックルに確実に差し込まれており､はずれないこと。
⑦ 車両シートベルト（肩ベルト・腰ベルト）が左右のアームレスト下側の腰ベルト通し部を通っていること。

警告

● これらの項目をチェックし、正しい状態でない場合は、49 ～ 51 ページの手順の必要なステップを、もう 1 度くり返してください。それでも正しい状態にならない場合は､その座席では使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。
● お子さまの後頭部が背もたれの上端よりも上に出る場合は、ブースターモードでご使用ください。そのまま使用すると事故などの衝突時に本来の機能を果たさず、危険です。

使用前の準備

体重条件	15kg 以上～ 36kg 以下
身長の目安	95 ～ 145cm
年齢の目安	3 才ころ～ 11 才ころ
使用方法	幼児ベルトや背もたれを取りはずして、座面のみで使用します。肩ベルトをお子さまの体にあわせるためにベルトポジショナーを使用します。

●体重が15kg 以上～25kg 以下のお子さまは、ブースターモードでも使用できますが、肩ベルトがお子さまの首にあたる場合があります。背もたれを使用したジュニアモード (P39) でのご使用をお勧めします。
●ヘッドサポートとランバーサポート（EG のみ）は、使用しません。

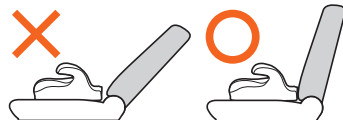
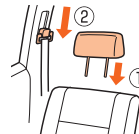
⚠危険
- 必ず 3 点式シートベルトの座席で使用してください。2 点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。
- お子さまが座っていないときでも、必ず車両シートベルトで取り付けてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、危険なことがあります。

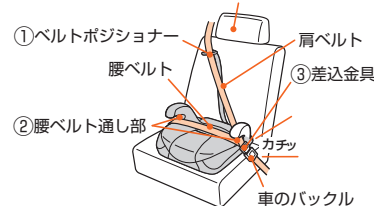
⚠警告
- 必ずベルトポジショナーを使用してください。衝突時、車両シートベルトが肩からはずれて危険です。
- チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を働かせないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。「シートベルトの種類と特徴」（P8）参照。
- 車両シートベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。
- 車両シートベルトに傷がある場合は、その座席では使用しないでください。

ブースターモードへの変更のしかた

- チャイルドモードから変更する場合、40 ～ 47 ページの作業を行います。
- ジュニアモードから変更する場合、背もたれからベルトポジショナーを取りはずし（P58）、座面から背もたれを取りはずします（P20）。

車への取り付けかた

⚠警告
- 車の座席の背もたれがリクライニングできる場合は、立てた状態で使用してください。極端に倒した状態で使用すると、事故などの衝突時にお子さまの体が車両シートベルトの下からすり抜けたり、ベルトが首にかかったりするおそれがあり危険です。

1
① 座席のヘッドレストを取りはずしている場合は取り付ける。
② 車両シートベルト取り出し口の高さが調節できる場合は最下段に下げる。

2 座面を車の座席に置き、車両シートベルトを引き出して、
① ベルトポジショナーに肩ベルトを通す。
② 腰ベルトを左右のアームレスト下側の腰ベルト通し部に通す。
③『カチッ』と音がするまで差込金具を車のバックルに差し込む。

⚠注意
- お子さまを座らせていないときも、つねにこの状態にしておいてください。

お子さまの座らせかた

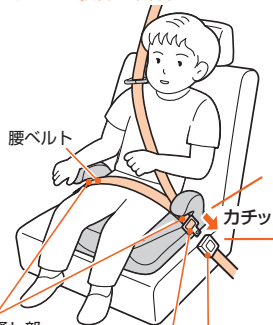
差込金具をいったんはずし、お子さまを深く座らせ、車両シートベルトを引き出して、

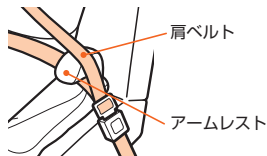
①腰ベルトを左右のアームレスト下側の腰ベルト通し部に通す。

②『カチッ』と音がするまで差込金具を車のバックルに差し込む。

＊ 腰ベルトは、必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにし、腰部に密着させる。

⚠警告

●お子さまの腕は、必ず車両シートベルトの上になるようにしてください。

ワンポイント

●身長の目安が 130cm 以上のお子さまを座らせたとき、肩ベルトが肩からはずれそうになる場合は、肩ベルトをアームレストの上側（外側）に通して使用してください。

＊必ずベルトポジショナーを使用してください。（56 ページ参照）

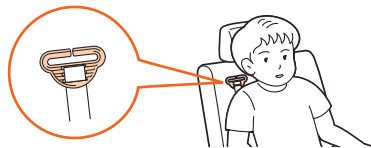
ベルトポジショナーの調節のしかた

お子さまを深く座らせ、肩の高さにあわせてベルトポジショナーの長さを調節します。

＊ベルトポジショナーは座面のクッションの下に収納されています。（P47 参照）

ベルトポジショナーの正しい位置

図のように、ベルトポジショナーを肩と同じ高さになるように調節し、車両シートベルトをお子さまの体にあわせる。

⚠警告

●ベルトポジショナーは車両シートベルト（肩ベルト）がお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまが成長し、ベルトポジショナーが低くなったときには、高さを調節しなおしてください。

長くする場合

短くする場合

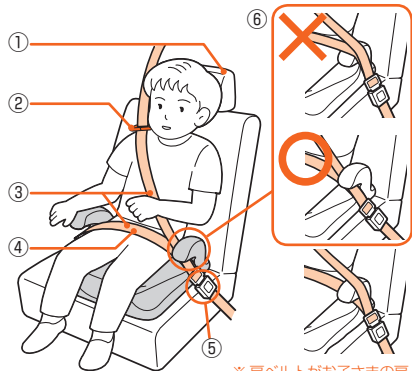
ベルトの通しかた

ベルトがはずれてしまった場合は、図のようにベルトを通す。

ブースターモードの完了チェックのしかた

お子さまを座らせ、車両シートベルトを締めたら、次のことを確認してください。

① 車の座席のヘッドレストが取り付けられていること。
② 肩ベルトがベルトポジショナーを通り、お子さまの首を圧迫していないこと。また、肩からはずれていないこと。
③ 車両シートベルトがお子さまの体に密着していて、ねじれやたるみがないこと。
④ 腰ベルトがお子さまの腰骨を押さえていること。
⑤ 車両シートベルトの差込金具が車のバックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
⑥ 車両シートベルト（肩ベルト・腰ベルト）が左右のアームレスト下側の腰ベルト通し部を通っていること。

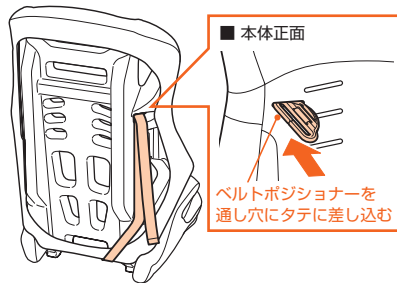
※ 身長の目安が130cm以上のお子さまを座らせたとき、肩ベルトが肩からはずれそうになる場合は、55ページのワンポイントを参照してください。

⚠警告
● これらの項目をチェックし、正しい状態でない場合は、54～56ページの手順の必要なステップを、もう１度くり返してください。それでも正しい状態にならない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

つづく

ベルトポジショナーの収納

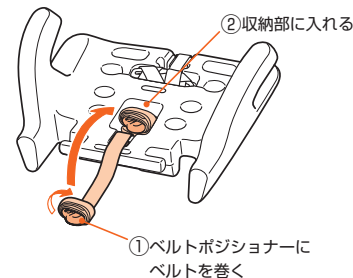
チャイルドモード（P23）で使用する場合、ベルトポジショナーは使用しません。座面の収納部にベルトポジショナーを収納してください。

1 ジュニアモード（P39）の場合、ベルトポジショナーを背もたれから取りはずす。

■ 本体背面

ワンポイント
● ベルトポジショナーの準備は、47ページを参照してください。

2 座面から背もたれを取りはずし（P20）、座面のシートカバーとクッションを取りはずす（P65）。
① ベルトポジショナーにベルトを巻き、
② 座面後側の収納部に入れる。

■ 座面後側

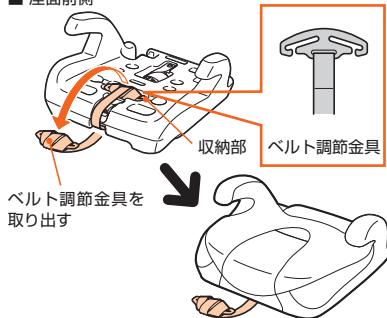
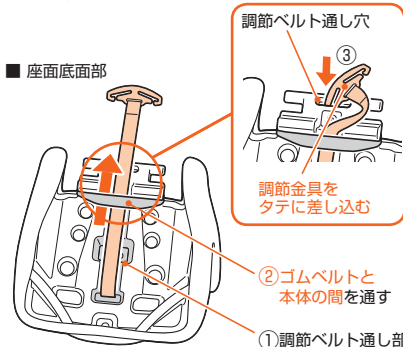
つづく

ベルト調節金具の取り付け

ジュニアモード（P39）やブースターモード（P53）から、チャイルドモード（P23）に戻す場合、座面に収納されたベルト調節金具を取り出し、座面底面部に取り付けます。

＊本体が不安定な状態になります。座面から背もたれを取りはずした状態で(P20)、作業をしてください。

1 座面のシートカバーとクッションを取りはずし（P65）、ベルト調節金具を取り出し、シートカバーとクッションをもとに戻す。

■ 座面前側

2 調節ベルトがねじれないように、
① 座面底面部の調節ベルト通し部、
② ゴムベルトと本体の間を通し、
③ 調節金具を調節ベルト通し穴にタテに差し込んで通す。

ワンポイント
●ベルト調節金具の取りはずしや座面への収納のしかたは、45ページを参照してください。

幼児ベルトの取り付け

チャイルドモード(P23)で使用する場合、背もたれに幼児ベルトを取り付けます。

＊本体が不安定な状態になります。座面から背もたれを取りはずした状態で(P20)、作業をしてください。

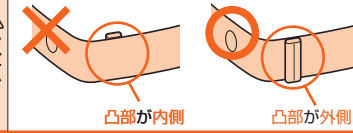
1 肩ベルトカバーを取り付ける。
① 肩ベルトカバーを適正な肩ベルト通し穴に、背もたれ背面から通す。
＊「お子さまにあわせた肩ベルトの調節のしかた」(P23) 参照。
② 背もたれ正面に引き出す。

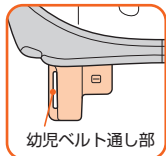
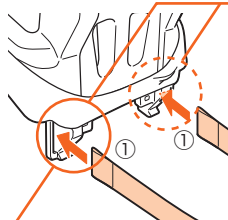
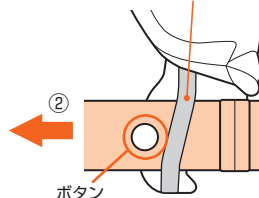
■ 背もたれ背面
肩ベルト通し穴
肩ベルトカバー
■ 背もたれ正面

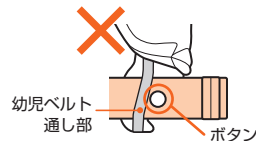
2 幼児ベルトを取り付ける向きを確認する。
幼児ベルトにねじれがなく、幼児ベルトの凸部が外側になるようにする。

■ 背もたれ背面

ワンポイント
●幼児ベルトの取りはずしは、40 ページを参照してください。

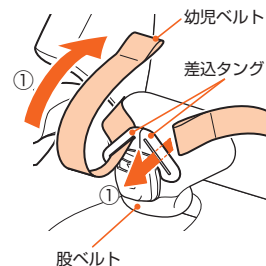
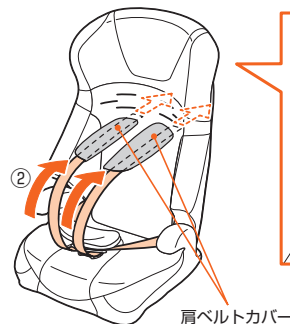
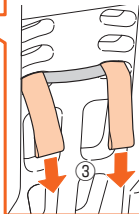
つづく

3 幼児ベルトを取り付ける。

幼児ベルトがねじれないように注意しながら、
① 背もたれ背面の左右の幼児ベルト通し部に片方ずつ通し、
② 幼児ベルトのボタンが幼児ベルト通し部を通るまで、幼児ベルトを正面から引く。

⚠注意

● ボタンが幼児ベルト通し部に通っていない状態では使用しないでください。

幼児ベルト通し部
ボタン

ここからは、座面に股ベルト(P43)と背もたれを取り付けてから(P17)、作業を行います。

4

① 左右の差込タングに、幼児ベルトがねじれないように注意しながら通す。
② 肩ベルトカバーに幼児ベルトがねじれないように通し、
③ 本体背面に引き出す。

5 左右の幼児ベルトをベルト調節金具に取り付ける。
① ベルト調節金具と調節ベルトを、本体とシートカバーの間を通す。
② 幼児ベルトをベルト調節金具に取り付ける。

⚠注意

●ベルト調節金具と調節ベルトが、本体とシートカバーの間を通るように取り付けてください。

ヘッドサポートとランバーサポート(EGのみ)

「ヘッドサポートとランバーサポートの取り付けと使いかた」(P21)を参照。

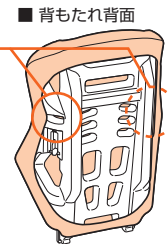
幼児ベルトの取りはずしと取り付け

「幼児ベルトの取りはずし」(P40)を参照。
「幼児ベルトの取り付け」(P60)を参照。

背もたれのシートカバーの取りはずし

あらかじめ、幼児ベルトを取りはずし（P40）、座面から背もたれを取りはずしてから（P20）、シートカバーを取りはずします。

① ベルトポジショナー通し部のベルトのホックをはずす。

② シートカバーの上部を背もたれからはずし、
③ 背もたれをシートカバーから引き抜く。

●取り付けは、シートカバー下側のループ部に背もたれを通します。

＊取り付けは、取りはずしの逆の手順です。

背もたれのシートカバーの取り付け

つづく

座面のシートカバーの取りはずし

あらかじめ、座面から背もたれを取りはずし(P20)、股ベルトを取りはずしてから(P43)、座面のシートカバーを取りはずします。

① 座面底面部の３カ所のゴムベルトをはずし、
② シートカバーの前側を上にめくる。

③ 座面後側の袋状部分をはずし、

④ アームレストからシートカバーを取りはずす。

■ 座面底面部

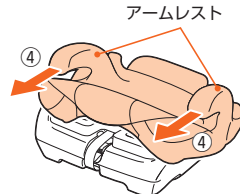
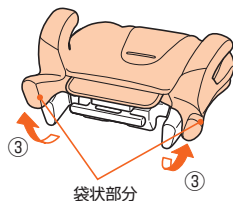
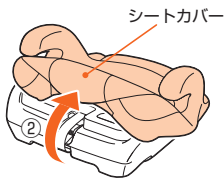
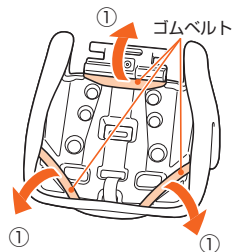
①
ゴムベルト
①
①

■ 座面前側

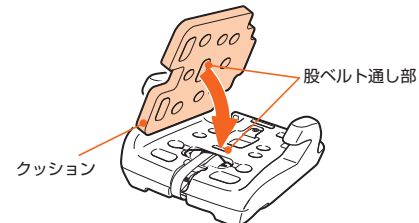
シートカバー
②

■ 座面後側

③
袋状部分
③

■ 座面前側

ワンポイント
●クッションは、股ベルト通し部に位置をあわせます。

＊取り付けは、取りはずしの逆の手順です。

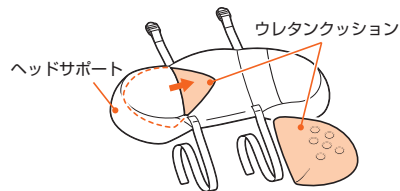
座面のシートカバーの取り付け

お手入れのしかた

お手入れのしかた

シートカバーなどの縫製品の洗いかた

● 洗濯時は次のことを守ってください。

	液温は 30℃を上限とし手洗いしてください。
	塩素系漂白剤は使用しないでください。
	アイロン掛けはしないでください。
	ドライクリーニングはしないでください。
	強く絞ると、シワが残ることがあります。
	日陰で平干ししてください。

●ヘッドサポート(EGのみ)を洗濯するときは、中に入っているウレタンクッションを取りはずしてください。

※蛍光増白剤を含まない洗剤を使用してください。
※洗濯機、脱水機、乾燥機は使用しないでください。

本体、幼児ベルトのお手入れ方法

通常は固くしぼった布で水拭きしてください。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水拭きし、日陰で乾燥させてください。

警告

● 中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトをいためるおそれがあり危険です。

保管のしかた / 廃棄のしかた

保管のしかた

本　体

長期間使用しないときは、車から降ろし、直射日光が当たらず風通しの良い、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

取扱説明書

ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、座面のシートカバー裏側のポケットに保管してください。（5 ページ参照）

ウレタンについて

シートカバーなどの縫製品の裏側のウレタンに染料が付着することがあります。品質上問題なく、安心してお使いいただけます。

廃棄のしかた

● お住まいの各自治体の規定にしたがい処分、廃棄してください。
● 衝突事故や製品を落下させたときなど、1 度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないようにシートカバーなどの縫製品をはずして、廃棄してください。

製品を安全に、正しくお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただくための情報を、当社ホームページでご案内しております。
下記のホームページをご覧ください。

http://www.combi.co.jp/safetyinfo/index.html

製品仕様

製品サイズ

W440 × D450 × H670

製品重量

EG　　　　　：本体／5.2kg
エアスルー　：本体／4.9kg

材質

本　　　　体 … ポリエチレン、ウレタン
シートカバー … 表／ポリエステル
　　　　　　　裏／ウレタン